

指定管理施設評価 年間評価シート 令和4年度評価 (令和5年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 施設分類, 施設管理型, 指定期間, 主な業務内容, 利用料金制, 施設所管課, 電話. Includes details for bicycle parking facilities in Mitsuhashi City.

2. 指標

Table with 4 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (R4年度, R3年度, R2年度). Includes metrics for revenue and user satisfaction.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 (R4年度, R3年度, R2年度). Includes facility usage statistics and a detailed P&L statement for the designated manager.

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度. Includes survey results for user satisfaction.

(P2：評価内容)

指定管理者制度モニタリング【様式3】

指定管理施設評価 年間評価シート		令和4年度評価 (令和5年度実施)	
施設名	三田市自転車等駐車場、三田市新三田駅前駐車場、三田市藍本駅前駐車場	施設分類	施設管理型
指定管理者	公益社団法人 三田市シルバー人材センター	施設所管課	まちの再生部都市整備室道路河川課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(6)目標の達成度	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
(得点率=評価項目の評点の合計÷満点×100)			得点率	78%
			総合評価	A

適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	→	総合評価
概ね80%以上 ※	→	S 優良
概ね70%以上 ※	→	A 良好
概ね60%以上 ※	→	B 標準
概ね50%以上	→	C 要努力
概ね50%未満	→	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

指定管理者による所見 ・現状の利用に即した案内表示の掲示を行った。 ・講習会(普通救命講習会(三田市消防:AEDの使い方など施設内での応急措置に活用)、交通安全講習会(三田警察:自転車のヘルメット着用努力義務化、非着用者への対応等)を開催した。 ・無人駐輪場の除草作業(藍本、相野、広野、南ウツディタウン:場内美観維持・不法投棄対策のため)を行った。
市による所見 【成果】 ・従前からの接遇研修が実を結び、ついに接遇についてのアンケートで満足・やや満足が100%を達成した。 ・藍本駅前駐車場について、看板設置等により、他がコロナの影響で利用者が減少している中順調に増加している。 ・令和4年度から各設備の保守契約も業務に含めたが、保守業者からの指摘事項(消防点検など)について適切に対応している。 【課題】 ・複数施設で緊急時対応マニュアルの掲示場所が分かりにくい等をモニタリング時に指摘した。安全に関わることなので今後もモニタリング時には必ず確認する。また、施設の老朽化に伴う修繕が必要な個所を把握し、計画的に対応していくことが求められている。 ・有料施設においてはインボイス対応が喫緊の課題であり、道路河川課・指定管理者で協力し、開始までに事務処理手順等を決定する必要がある。 【今後の方向性】 ・現在のアンケートの満足度が維持できるよう、スタッフの接遇レベルの向上を目指す。 ・各設備が老朽化してきているため、規模が大きな修繕については指定管理者との連絡を密にし、適切な保守管理を行うことにより施設の長寿命化を図る。